

基 本 本 事 項	事務事業名	児童ショートステイ事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成22年度 ~ 未設定	事業年齢	10歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市子どものショートステイ事業実施要綱		
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)		事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進		事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
		施策小項目	(1)地域における子育ての支援		直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
		実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計
		市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費
		個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費 児童健全育成事業
		目的	対象(誰を、何を)	社会的事由によって、家庭における児童の養育が困難となった3歳未満児童及びその保護者		手段(どのような事業を行うのか)	委託契約した児童福祉施設において、対象児童の養育を一時的に行う。	
		対象年齢	00 02	3歳未満乳幼児				
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	一時的に保護者に代わり、専門施設において養育を行うことで、安心して子供を預けることができる。						
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30410301 児童ショートステイの利用	
	前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303101					30410302 児童ショートステイ事業委託管理	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	22	14	68	14	0	54	54
	② 人件費	155	155	158	379	224	379	379
	正職員投入人員	0.02人	0.02人	0.02人	0.05人	0.03人	0.05人	0.05人
	正職員人件費	155	155	158	379	224	379	379
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	177	169	226	393	224	433	433	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	14	14	14	14	0	14	14
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金			14		0	14	14
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債						0	
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
	受益者負担率(⑩÷⑤)							
C	吉川市年間負担経費(A-B)	163	155	198	379	224	405	405
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
計 算 式 ・ 説 明 (下段)						計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 事業対象児童	人	2,100	2,100	1,900	1,900	1,900
	3月31日現在の3歳未満の子どもの総数		1,930	1,860	1,811		
活 動 指 標	① 広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数	回	4	4	4	4	4
	各種手段により市民向けに周知した回数		4	4	4		
	②						
成 果 指 標	① ショートステイ利用日数	日	5	5	5	5	5
	延べ利用日数		0	0	0		
	②						

評価年度 の 主 な 取 組	児童ショートステイ事業
	1 委託先 (1)社会福祉法人 愛の泉 愛泉乳児園 (2)社会福祉法人 愛全会 富士見乳児院  2 実績数 R2年度 0件

事業 性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)				
	当 性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	当市から近い乳児院と契約を交わしており、対象、手段は妥当である。一般的に専門施設において養育を行うことで、保護者が安心して子どもを預けることができるので、意図として妥当である。			
意 図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担 (行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	行政にしか出来ない事業であり、役割分担は妥当である。				
業 効 性	目 標 達 成 度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)			平成30年度	令和元年度	
		活動 指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果 指標	0% ★ 達成度がかなり低い	① ショートステイ利用日数 (増加目標指標)	0% ★ 達成度がかなり低い	0% ★ 達成度がかなり低い				
	成果向上の 余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	利用のための手続きの負担はあるが、必要な方が必要な時に利用できるよう事業の周知を図ることができれば成果は向上すると考えられる。5か年計画である「子ども・子育て支援事業計画」に位置付けられている事業であり、上位施策への貢献度は高い。						
	上位施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし							
価 効 率 性	単 位 当 た り コ ス ト 変 動 率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度			
		232.78% 増加している 98,175.00 円	広報、市ホームページ、ガイドブックなどによる周知回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	97.28% 若干減少している 44,330.00 円	95.14% 若干減少している 42,175.00 円				
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	委託単価は、国の補助単価に合わせており、コスト改善の余地はない。受益者負担額は実施要綱で必要額を定めており、適正化の余地はない。						
受 益 者 負 担 適 正 化 の 余 地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし								

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	市のホームページのほか、子育て専用サイトの「ママフレ」や「よしよしねっと」を通じて、周知を図った。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 保護者の急な疾病・事故等により、乳幼児等の養育が一時的に困難になる場合がある。児童福祉施設の入所状況によっては、当該児童の受け入れができない場合がある。	機会(プラス要素) 保護者の急な疾病・事故等への対応として、選択肢の一つとして挙げられる。
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)		

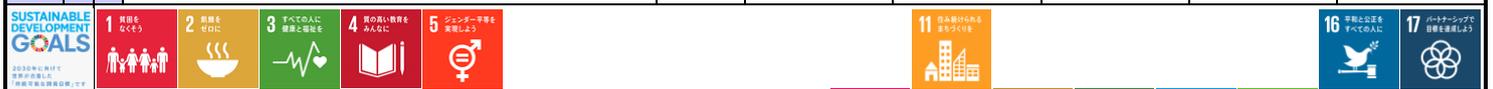
事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説 明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '児童虐待防止対策事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画の位置付け', '対象', '手段', '業務プロセス'.

Table with financial data including '区分', '平成30年度決算(千円)', '令和元年度決算(千円)', '令和2年度' (予算, 決算, 増減額), '令和3年度当初(千円)', '令和4年度計画(千円)'.

Table with performance indicators including '区分', '指標名(上段)', '計算式・説明(下段)', '単位', '平成30年度', '令和元年度', '令和2年度', '令和3年度', '令和4年度'.



評価年度の主な取組	1 要保護児童対策地域協議会	3 「ほめてはぐむ子育て講座」
	(1)会議	暴力や暴言を使わずに子どもを育てるスキルを学ぶ講座
	代表者会議 1回	(1)市民向け
	実務者会議 6回	実施回数 2回
	個別ケース会議 28回	修了者数 8名
	(2)管理ケース38件	(2)職員向け
	前年度からの継続ケース 12件	実施回数 1回
	新規ケース 12件	参加人数 8名
	R2年度終結ケース 14件	
	2 児童虐待相談対応件数	4 専門研修
	70件(実人数)	市保健師児童虐待対応研修
	※令和2年度福祉行政報告例より	参加者数 16名

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	要保護児童対策地域協議会は、児童福祉法第25条の2第1項に基づく協議会であり、関係機関により構成されるため、市が行う事業としては妥当である。対象児童や家庭に関し、関係機関が支援方針を決定し、役割分担を行うことにより、対象児童及びその家族への適切な支援を行うことができ、手段として妥当である。また、対象児童の適正な養育・保護が行われることが、当事業の重要な意図である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業績性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	73.68% ★★★★ 達成度がやや低い	① 要保護児童対策地域協議会個別ケース会議 (増加目標指標)	97.37% ★★★★★	100.00% ★★★★★	
	成果指標	200.00% ★★★★★ 達成された	② 要保護児童対策地域協議会での終結件数 (増加目標指標)	71.43% ★★★★	57.14% ★★★★		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	子育て講座の充実を図ることで虐待防止につながる事が期待できるため、成果向上の余地はある。吉川市総合振興計画で掲げられている児童虐待防止の観点からも上位施策への貢献度は非常に高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		136.07% 増加している 525,927.46 円	要保護児童対策地域協議会個別ケース会議 活動指標を単位として換算 単位: 円/回	108.77% 若干増加している 388,171.35 円	99.57% ほぼ変動していない 386,502.50 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費は、協議会委員の報償費、公用車、子育て講座に係る経費であり、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求める事業ではない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度から家庭児童相談員を講師とする「子育て講座」を開催。なお、講座名については平成30年度から「ほめてはぐむ子育て講座」と親しみやすい名称に変更している。相談業務についても平成30年6月より家庭児童相談員を1名増員し、支援の充実を図っている。令和元年度には、2回にわけて「児童虐待を考える講座」を開催し、学識経験者や専門医を講師に招き、関係機関間の連携強化を図った。令和2年度には、コロナ禍の中で子どもの見守り強化事業に取り組み、要保護児童等への支援を進めた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。</td> <td>新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルスの影響により、対面での相談件数や個別ケース検討会議の回数が減少している。	新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)						

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	子ども家庭総合支援拠点の運営に必要な人員を継続的に配置するために、研修や講習会を通じて職員の能力と資質の向上に努める。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	子ども・子育て支援事業計画推進事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係				
	事業期間	平成27年度 ~ 未設定	事業年齢	5歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	子ども・子育て支援法、吉川市児童福祉審議会条例			
		まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度			
	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画				款 項	民生費	児童福祉費		
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	18歳未満の児童及び保護者			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	児童福祉総務費		児童健全育成事業
		意 図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)	子どもが健やかに成長できる。保護者が、妊娠、出産、育児において、必要な時に必要な支援が受けられ、安心して子育てが出来るようになる。					執行方法	直営	0
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)			<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30310701	児童福祉審議会
前年度事務事業		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303103								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	2,113	2,582	95	81	△ 2,501	95	95	
	② 人件費	2,019	1,856	1,896	682	△ 1,175	682	682	
		正職員投入人員	0.26人	0.24人	0.24人	0.09人	△ 0.15人	0.09人	0.09人
		正職員人件費	2,019	1,856	1,896	682	△ 1,175	682	682
	会計年度任用職員人件費				0	0	0	0	
③ 間 接 経 費 (加算)				0	0	0	0		
④ コスト対象外 (除外)				0	0	0	0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	4,132	4,439	1,991	763	△ 3,676	777	777		
資 源	⑥ 国庫支出金				0	0	0	0	
	国補助率								
	⑦ 県支出金				0	0	0	0	
	県補助率								
	⑧ 市 債				0	0	0	0	
⑨ そ の 他				0	0	0	0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)				0	0	0	0		
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	4,132	4,439	1,991	763	△ 3,676	777	777		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 標 設 定	区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	事業計画の対象者数		人	13,400	13,400	12,881	12,871	12,787
		3月31日現在の18歳未満の子どもの総数			13,002	12,785	12,685		
活 動 指 標	①	児童福祉審議会の開催回数		回	2	4	2	2	2
		児童福祉審議会を開催した回数			3	4	2		
	②								
成 果 指 標	①	計画の進捗率(幼児期の学校教育・保育)		人	45	0	0	0	0
		4月1日現在の待機児童数			48	8	3		
	②	計画の進捗率		%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
		確保内容の達成割合			88.33	99.93	97.88		



評価年度 の 主 な 取 組	令和2年度児童福祉審議会の開催 1 第1回(令和2年10月1日開催) (1)吉川市子ども・子育て支援事業計画に係る進捗状況について (2)新型コロナウイルス感染症拡大に伴う子ども・子育て支援施策の現状及び今後について
	2 第2回(令和3年3月25日開催) (1)吉川市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について (2)吉川市子どもの貧困対策推進計画の進捗状況について (3)令和3年度児童福祉に関する予算と事業の概要について

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供の確保、並びに関連する業務の円滑な実施に関し管理していくことは、行政・家庭・地域が一体となった子育て支援や児童の健全育成などの子育てをしやすいまちづくりにつながるため、意図としては妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	子ども・子育て支援事業計画は、子ども・子育て支援法に基づき市が策定し、管理する計画である。本計画の内容について、児童福祉審議会に諮ることは法律にも定められており、妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 児童福祉審議会の開催回数 (増加目標指標)	150.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	評価不可	① 計画の進捗率(幼児期の学校教育・保育) (減少目標指標)	93.33% ★★★★ 概ね達成された	評価不可		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	子ども・子育て支援事業計画に基づき、施設等の整備を行っていくことにより、成果向上する余地がある。吉川市総合振興計画で掲げられている「地域における子育ての支援」への貢献度は高い。				
業効性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
	単当たりコスト変動率	令和2年度	単当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		34.37% 減少している 381,390.00 円	児童福祉審議会の開催回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	377.99% 増加している 1,377,393.33 円	80.56% 減少している 1,109,655.00 円		
コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成30年度は市民のニーズを把握するための調査を行ったところであるが、通常のコストについては、審議会の報償費、費用弁償であり、令和元年度は子ども・子育て支援事業計画の策定業務委託料である。そのため改善の余地は無い。					
業効性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	児童福祉審議会において、委員からいただいた意見を計画に反映し、子どもの最善の利益の実現を第一とする子ども主体の考え方を新たに基本理念に加えた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 待機児童の発生や、地域のつながりの希薄化が挙げられる。	機会(プラス要素) 子ども・子育て支援事業計画を着実に推進していく中で、現状や進捗状況の確認を行っていく。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ホームスタート事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係				
	事業期間	平成28年度 ~ 未設定	事業年齢	4歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法				
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			予算科目	会計区分	一般会計		
	目的	対象(誰を、何を)	妊婦又は未就学児のいる保護者			手段(どのような事業を行うのか)	款	民生費	児童福祉費	
	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	00	06	目		児童福祉総務費	児童健全育成事業		
	類同事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			執行方法		全部委託 よしかわホームスタート推進協議会へ委託			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	303104			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30310101	ホームスタート事業の運営委託		

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータルコスト	① 事業費	1,353	1,416	1,518	1,516	100	1,527	1,527
	② 人件費	466	541	553	454	△ 87	454	454
	正職員投入人員	0.06人	0.07人	0.07人	0.06人	△ 0.01人	0.06人	0.06人
	正職員人件費	466	541	553	454	△ 87	454	454
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,819	1,957	2,071	1,970	13	1,981	1,981	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	451	472	505	505	33	508	508
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	451	472	505	505	33	508	508
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	917	1,013	1,061	960	△ 53	965	965
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

区分	指標名(上段)	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	① 妊婦又は未就学児をもつ家庭	人	4,890	5,350	5,300	5,300	5,300
	妊婦届出者数+3月31日現在の6歳以下の子どもの総数		5,344	5,205	5,027		
活動指標	① 訪問回数	回	180	210	210	210	210
	ビジターが家庭訪問をした延べ回数		197	311	266		
	② 周知活動の手法	件	8	8	8	8	8
	健診や説明会などホームスタート事業を案内する方法の種類		8	8	8		
成果指標	① ホームスタート訪問件数	件	26	26	26	26	26
	ビジターが家庭訪問をした世帯数		23	40	31		
②							

評価年度の主な取組	1 事業概要 よしかわ子育てネットワークと社会福祉協議会が協働で「ホームスタートよしかわ推進協議会」を運営し、研修を受けたボランティアが未就学児のいる家庭や妊産婦のもとを訪問することで、傾聴と協働による家庭訪問型の子育て支援を行う。
	2 事業実績 (1)家庭訪問をした世帯数 31件(内訳:新規26件・継続5件) 延べ訪問回数 266回 (2)ビジター養成講座 1回(補講) 全ビジター数 40名

事業性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)		
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童虐待や家庭崩壊のような深刻な事態になることを未然に防ぐための啓発を目的としており、対象や意図についても妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	一定のノウハウを身に付けた地域ボランティアが利用者宅へ出向き実施しており、役割分担については妥当である。				
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	② 周知活動の手法 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
		成果指標	119.23% ★★★★★ 達成された	① ホームスタート訪問件数 (増加目標指標)	88.46% ★★★★ 概ね達成された	153.85% ★★★★★ 達成された	
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的なニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用に繋げることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		117.69% 増加している 7,407.67 円	訪問回数	91.49% 若干減少している 9,233.30 円	68.17% 減少している 6,294.05 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	サービスは無料で提供しており、改善の余地は無い。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	ビジターの活動者数が不足していたため、ビジター養成講座を開催し、活動者数を増加させた。また、対象者に妊婦を追加することで、利用者の多様なニーズに対応できるようサービス内容の充実を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 核家族化や地域のつながりの希薄さ等が挙げられる。	機会(プラス要素) 家庭訪問により、きめ細やかに対応することで、対象者への寄り添った対応が可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including: 事務事業名 (産前・産後ヘルプサービス事業), 所管部署名 (こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係), 事業期間 (平成28年度 ~ 未設定), 事業年齢 (4歳), 事業区分 (法定受託事務, 自治事務), 実施計画の位置付け (無), 対象 (市内在住で母子保健法の規定により母子健康手帳の交付を受けた妊婦又は出産後1年未満の者), 執行方法 (補助・負担等), 業務プロセス (産前・産後ヘルプサービス事業).

Table with financial data: 区分 (A, B, C, D), 区分 (事業費, 人件費, 間接経費, 国庫支出金, 県支出金, 市債, その他), 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 (予算, 決算, 増減額), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円).

Table with performance indicators: 区分, 指標名 (対象妊産婦及び0歳児, 広報・市ホームページなどによる周知回数, 産前・産後ヘルプサービス利用回数), 単位 (人, 回), 平成30年度 (目標, 実績), 令和元年度 (目標, 実績), 令和2年度 (目標, 実績), 令和3年度計画(見込)値, 令和4年度計画(見込)値.

評価年度の主な取組	1 令和2年度登録者数 10名
	2 利用実績 延べ利用回数28回・実利用時間56時間・助成額61,120円
	3 利用料金(1時間当たり) 課税世帯1,100円・非課税世帯740円・生活保護世帯380円)
	4 市助成額(令和2年度) 課税世帯950円・非課税世帯1,310円・生活保護世帯1,670円)
	5 サービス内訳 (1)家事援助(食事の準備・片付け・洗濯・掃除等) (2)育児援助(授乳、おむつ交換) ※沐浴は別途料金

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	サービスの提供により利用者の負担が軽減され、対象や意図についても妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 広報、市ホームページなどによる周知回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	23.33% ★ 達成度がかなり低い	① 産前・産後ヘルプサービス利用回数 (増加目標指標)	42.14% ★★ 達成度が低い	55.71% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的ニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用につなげることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		38.41% 減少している 118,260.00 円	広報、市ホームページなどによる周知回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	174.79% 増加している 100,080.00 円	307.66% 増加している 307,910.00 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	課税世帯、市民税非課税世帯、生活保護世帯の保護者に対し、利用助成金を交付しているが、登録事業者が抱えるスタッフ確保の課題等により、ヘルパー利用料金が増額傾向にあることから、この増額に対応するための利用助成の在り方を研究し、受益者負担の適正化等を図る必要がある。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	登録事業者から、スタッフ確保の状況や産前産後ケアを行う近隣事業者の料金等を鑑み、令和3年度から1時間当たりのヘルパー利用料金を増額したい旨の申し出を受け、当該事業者との交渉及び調整の上、市助成額の増額を図ることで、利用者負担を増大させることなく、受益者負担の適正化を図った。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>コロナ禍により利用を差し控えることが懸念される。</td> <td>サービスの提供により、利用者の育児・家事に係る負担が軽減される。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	コロナ禍により利用を差し控えることが懸念される。	サービスの提供により、利用者の育児・家事に係る負担が軽減される。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
コロナ禍により利用を差し控えることが懸念される。	サービスの提供により、利用者の育児・家事に係る負担が軽減される。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)						

事業(一次)方向性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	事業者登録の在り方などサービスを提供する手法等を、他団体の事例も検証しながら、改善を見据えて検討していく。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化			
	説明	改善に向けて検討する。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with project details including '緊急サポート事業', '事業期間', '事業区分', '実施計画', '対象', and '業務プロセス'.

Table with financial data including '区分', '平成30年度決算', '令和元年度決算', and '令和2年度' budget/actuals.

Table with performance indicators including '指標名', '単位', and '実績値' for various goals.

評価年度の主な取組	1 対象年齢 0歳から小学校6年生まで
	2 利用実績 病児1件、預かり4件、送迎12件、宿泊0件
	3 利用料金 午前8時から午後8時 1h/1,000円 午前8時から翌朝午前8時 1h/1,200円 宿泊(午後6時から翌朝9時) 1h/10,000円

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	夜間や宿泊、病児・病後児に対する緊急サポート事業。当該事業を利用することで、仕事と育児が両立できるようになるため、意図として妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	83.33% ★★★★ 概ね達成された	② サポート会員数 (増加目標指標)	76.67% ★★★★ 達成度がやや低い	86.67% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	42.50% ★★ 達成度が低い	① 利用件数 (増加目標指標)	206.67% ★★★★★ 達成された	125.00% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	潜在的ニーズはあると考えられる事業なので、事業の周知方法を工夫し、利用につなげることができれば、成果が向上すると考えられる。基本計画の内容である「子育て家庭の支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		84.06% 減少している 52,108.00円	サポート会員数 活動指標を単位として換算 単位:円/人	115.48% 増加している 49,573.04円	125.05% 増加している 61,990.38円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	コストについては、適切な内容であると考え。子育て中の保護者に対してこれ以上の負担を求めることは困難である。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	利用料金については、県内市町で同一となっているため、改善は困難である。 令和元年度は広報で特集を組み、利用会員・協力会員の実際の声を載せたことで講習会の受講者数や、利用会員の増加に繋がった。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 核家族化や保護者の就労体系の多様化により、個々の状況に応じた子育て支援が求められている。	機会(プラス要素) 夜間や宿泊、病児・病後児に対する緊急時の支援が可能となる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	家庭児童相談事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援係		
	事業期間	平成8年度 ~ 未設定	事業年齢	24歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市家庭児童相談員取扱要綱		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	児童健全育成事業
	目的	対象(誰を、何を)	18歳未満の児童及び保護者			手段 (どのような事業を行うのか)	・家庭児童相談員による相談業務(市役所、児童館、おあしす、吉川小学校、美南小学校、旭小学校、東部地区公民館、乳幼児健診時)	
	対象年齢	00	99					
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	保護者の悩みが和らぐ(解消する)。							
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ひとり親家庭等自立支援事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30420301	家庭児童相談	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303107							

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	4,480	4,867	111	99	△ 4,768	153	153
	② 人件費	1,320	1,006	6,489	6,200	5,195	6,523	6,523
	正職員投入人員	0.17人	0.13人	0.13人	0.10人	△ 0.03人	0.09人	0.09人
	正職員人件費	1,320	1,006	1,027	757	△ 248	682	682
	会計年度任用職員人件費			5,462	5,443	5,443	5,841	5,841
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		5,800	5,873	6,600	6,300	427	6,676	6,676
B 特定財源	⑥ 国庫支出金						0	
	国補助率							
	⑦ 県支出金						0	
	県補助率							
	⑧ 市債						0	
⑨ その他		11	12	12	14	2	15	15
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)							0	
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	5,789	5,861	6,588	6,286	425	6,661	6,661
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
①	家庭児童相談事業の対象児童数	人	13,200	13,200	12,881	12,871	12,787
	3月31日現在の18歳未満の子どもの総数		13,002	12,785	12,685		
②	家庭児童相談員の設置すべき日数	日	228	241	241	242	242
	家庭児童相談員が勤務する日数		206	222	238		
③	相談受付件数	人	400	510	700	700	700
	家庭児童相談員の相談実取扱人員数		508	730	737		
	相談終結件数		30	30	30		
	不安排除、問題解決件数		1	10	10		

評 価 年 度 の 主 な 取 組	家庭児童相談員 相談実績		
	相談場所	件数	相談日等
	子育て支援課	696	月曜日から金曜日
	児童館ワンダーランド	25	毎週火曜日(休館日を除く):午前9時30分~11時30分
	おあしす	0	毎月第1木曜日:午前9時30分~正午 第3、5木曜日:午後1時30分~午後4時
	美南小学校	2	毎月第3金曜日:午前9時30分~午前11時30分
	吉川小学校	10	毎月第3金曜日:午後1時30分~午後3時30分
	旭小学校	0	毎月第4金曜日:午前9時30分~午前11時30分
	三輪野江小学校	0	毎月第4金曜日:午後1時30分~午後3時30分
	3歳4ヶ月健診	4	不定期、月2回程度
合計	737		

事 業 性	区 分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥 当 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	専門的な知識を持つ相談員が、子育てをしている市民の悩みや不安を解消するため、目的としては妥当である。			
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担 (行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	相談には、個人情報が多く含まれるため、個人情報保護の観点からも行政の役割として妥当である。				
業 効 性	目 標 成 度	種別	令和2年度	評価指標 (指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動 指標	98.76% ★★★★ 概ね達成された	① 家庭児童相談員の設置すべき日数 (増加目標指標)	90.35% ★★★★ 概ね達成された	92.12% ★★★★ 概ね達成された	
	成果 指標	105.29% ★★★★★ 達成された	① 相談受付件数 (増加目標指標)	127.00% ★★★★★ 達成された	143.14% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の 余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	解決まで導くことができる件数はわずかではあるものの、市民に積極的に相談実施場所や日程の周知、体制づくりをすることにより、相談受付数の増加が図れるため、向上の余地はある。また、第5次総合振興計画においても、家庭児童相談員による相談体制の充実に位置づけていることから、上位施策への貢献度も高い。				
	上位施策への 貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価 効 率 性	単 位 当 た り コ ス ト 変 動 率	令和2年度	令和2年度	平成30年度	令和元年度		
		100.06% ほぼ変動していない	家庭児童相談員の設置すべき日数 活動指標を単位として換算 単位:円/日	150.67% 増加している	93.95% 若干減少している		
		26,469.32 円	28,156.34 円	26,453.20 円			
	コスト改善 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費の大半が相談員の人件費であるため、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求めることは、子育て世帯が気軽に相談できる機会を失うこととなるため、適正化の余地はない。				
	受益者負担 適正化 の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改 革 改 善	これまでの 改革・改善内容	平成30年6月より家庭児童相談員を1名増員し、2名体制とした。また、乳幼児健診時の出張相談や、コロナ禍において、専用ダイヤルの開設やオンライン子育て相談体制の整備など、相談体制の充実に図った。	
	事業を取り巻く環境 やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱 との関連 (点検・確認)	新型コロナウイルスの影響により、おあしすを利用できなくなり、市役所会議室に場所を変更したため、おあしすへの相談者が0名だった。児童の少ない地域(旭小学校、三輪野江小学校)についても相談者が0名だった。	
		新型コロナウイルスの影響により、相談希望者のニーズに合わせた相談方法を選択できるよう、オンライン子育て相談のための機器整備を行った。今後オンライン相談への利用啓発を進めていく。	

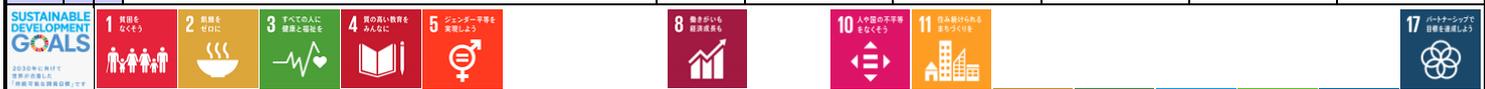
事 業 一 次 方 向 性	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大		<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」 の説明 (計画内容等)	相談件数が増加傾向にあることや、今後整備を予定する子ども家庭総合支援拠点での円滑な運営を見据えて、相談業務等に適切に対応するために、家庭児童相談員の勤務日数を現行の3日から4日へ拡大を図る。			
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」 の場合の展開方針	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大		<input type="checkbox"/> 効率化	
	説 明	新たに子ども家庭総合支援拠点の体制を構築していく中で、家庭児童相談の充実に図る。			
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with 4 main columns: 基 (Basic), 本 (Main), 事 (Business), 項 (Item). Contains details for '子どもの貧困対策推進事業' including period, age, objectives, and implementation methods.

Table showing financial breakdown by category (区分) and source (資源). Columns include fiscal year (平成30年度, 令和元年度, 令和2年度, 令和3年度, 令和4年度) and amounts in thousands of yen.

Table for '目標設定' (Target Setting) and '実績' (Achievement). Lists indicators (指標) such as '市内児童数' and '相談受付件数' with target and actual values for fiscal years 2018, 2019, 2020, 2021, and 2022.



評価年度の主な取組	であう・きづく・つなぐ・つながる未来プロジェクト —吉川市子どもの貧困対策推進計画— (2019年3月策定)	
	1 基本理念	すべての子どもが希望をもって力強く成長していけるよう、子どもの貧困を見逃さず、 であう・きづく・つなぐ・つながる未来へ子どもたちを応援します。
	2 対象	妊娠期から18歳までの子どものうち、現在困難を抱える家庭の子ども・将来困難を抱える 可能性がある子どもと保護者。ただし、若者を対象とする施策については、18歳を超える 年齢も含む。
	3 計画の期間	2019年度～2023年度
	4 基本目標	①子どもの育ちに直接つながる支援に取り組みます。 ②子どもを守り支える保護者への支援に取り組みます。 ③生活困難な家庭の生活基盤立て直しへの支援に取り組みます。 ④支援の輪の仕組みづくりに取り組みます。
5 令和2年度の主な取組	・子ども未来応援集会の開催(1回開催:11/27) ※新型コロナウイルス感染症対策のため、一部実施見送り ・緊急子ども応援配食の実施(①R2/3/13～3/23、②4/13～5/1、③5/7～5/29)	

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	子どもの貧困は、様々な問題が複合的に交錯しながら発生し、その状態を放置すれば、次世代に渡り貧困の負の連鎖が生じてしまう。全ての子どもが安心して日々を送り、自分の将来に希望が持てる社会の実現を目指して、貧困の負の連鎖を断ち切り、子どもたちが社会を「生き抜く力」を身につけられるよう支援する必要があることから、様々な視点で、子どもの貧困対策を推進することは、対象・手段、意図ともに妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	220.00% ★★★★★ 達成された	① 相談受付件数(就労・資格取得) (増加目標指標)	130.00% ★★★★★ 達成された	152.50% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	166.67% ★★★★★ 達成された	① 就職決定者数 (増加目標指標)	66.67% ★★★ 達成度がやや低い	66.67% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ひとり親家庭等への支援策に係る他事業(手当支給、医療費助成等)との連携を図ることで、成果向上の余地はある。また、様々な視点から施策横断的な貧困対策を講じることにより、成果向上を図る余地はある。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		99.35% ほぼ変動していない 81,561.94 円	相談受付件数(就労・資格取得) 活動指標を単位として換算 単位:円/件	238.34% 増加している 249,473.23 円	32.91% 減少している 82,099.66 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	平成29年度は「子育て世帯生活実態調査」の実施・分析を進め、平成30年度は当該調査に基づき、子どもの貧困対策推進計画を策定し、令和元年度から当該計画に基づき、各取組を推進しているところであり、コスト改善の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成29年度では「子育て世帯生活実態調査」を実施し、平成30年度では、当該調査に基づき、現状及び課題を整理した上で、解決に向けた取組を位置付けた子どもの貧困対策推進計画を策定した。引き続き、当該計画に基づき、各種取組を推進する。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、子どもの貧困対策に関わる様々な活動の自粛や規模縮小が想定される。	機会(プラス要素) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、その感染防止策の徹底を図るとともに、地域と連携しながら、孤立や経済的困窮等に対し、対応策を講じる。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)		

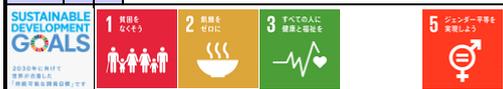
事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	児童健全育成事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係			
	事業期間	平成8年度 ~ 未設定	事業年齢	24歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	児童福祉法			
	ま ち づ く り 目 標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務			
	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施 策 小 項 目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実 施 計 画 の 位 置 付 け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	市 ま ち ・ ひ と ・ し こ ど 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個 別 計 画 の 位 置 付 け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目 細 目	児童福祉総務費		児童健全育成事業	
	目 的	対 象 (誰を、何を)	・妊産婦 ・配偶者のいない女子またはこれに準ずる事情にある女子(保護者である者)とその者の監護すべき児童(18歳未満) 対象年齢 00 99			手 段 (どのような事業を行うのか)	・保健上、必要があるにも関わらず、経済的理由により、入院助産を受けることができない場合に、その妊産婦を助産施設に入所させて助産を受けさせる。 ・保護者である者及び児童を母子生活支援施設に入所させて保護する。		
類 似 事 業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業 務 プ ロ セ ス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30420101	助産施設の利用		
前 年 度 事 務 事 業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		303201			30420102	母子生活支援施設の利用		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	4,447	5,140	5,714	5,302	162	4,633	4,333
	② 人件費	1,087	1,083	2,604	2,784	1,701	2,895	2,895
	正職員投入人員	0.14人	0.14人	0.14人	0.17人	0.03人	0.17人	0.17人
	正職員人件費	1,087	1,083	1,106	1,288	205	1,288	1,288
	会計年度任用職員人件費			1,498	1,497	1,497	1,607	1,607
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	5,535	6,223	8,318	8,086	1,863	7,528	7,228	
資 源	⑥ 国庫支出金	1,945	2,048	2,064	2,053	5	2,078	2,078
	国補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑦ 県支出金	972	1,024	1,032	1,027	3	1,039	1,039
	県補助率	1/4	1/4	1/4	25/100		1/4	1/4
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C 吉川市年間負担経費(A-B)	2,618	3,151	5,222	5,006	1,855	4,411	4,111	
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独					

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	① 相談件数	人	3	3	3		
	② 助産施設利用の相談をした人数		3	3	2	3	3
活 動 指 標	① 助産施設人数	人	3	3	3		
	② 助産を実施した人数		2	2	2	3	3
成 果 指 標	① 助産施設実施割合	%	100	100	100		
	② 相談者に対して助産施設に措置した割合		67	67	100	100	100



評 価 年 度 の 主 な 取 組	1. 助産施設利用状況				
	H28	H29	H30	R1	R2
	0件	1件	2件	2件	2件
	2. 母子生活支援施設利用状況				
	H28	H29	H30	R1	R2
	1件	1件	1件	1件	1件

区 分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事 業 性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	助産の実施については、妊産婦の経済的な援助をすることで不安や悩みの解消につながり、経済的理由により入院助産を受けられない妊産婦の孤立化を防ぐことで、福祉の向上を図ることができる。 母子生活支援施設への入所については、母子家庭の生活が安定し、自立の促進を図ることができる。 いずれも制度の特性上、対象の拡大・縮小の余地はない。				
	意 図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	66.67% ★★★★ 達成度がやや低い	① 助産施設人数 (増加目標指標)	66.67% ★★★★ 達成度がやや低い	66.67% ★★★★ 達成度がやや低い	
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 助産施設実施割合 (増加目標指標)	66.66% ★★★★ 達成度がやや低い	66.66% ★★★★ 達成度がやや低い		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	経済的困窮家庭や特別な事情のある母子家庭に対する制度は関係各課にも市民にも周知しており、成果向上の余地はある。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
価 効 率 性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		129.94% 増加している 4,043,211.00 円	助産施設人数 活動指標を単位として換算 単位: 円/人	72.28% 減少している 2,767,279.00 円	112.44% 増加している 3,111,557.50 円		
	コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	国が定める基準額により委託料を決定しているため、コスト改善の余地はない。受益者負担については、所得に応じた利用者負担を求めている。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	妊産婦健診や日々のケースワークの中で、生活に困窮している妊産婦や虐待等が疑われるケースへの適切な案内が求められることから、関係各課へ制度周知をしている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	国が定める基準額による委託料であり、事業費のコスト改善の余地はないが、総合振興計画におけるまちづくりの基本理念のうち、「市民の幸福の向上」につながるよう、引き続き今後も各関係課への制度周知を行っていく。また、SDGsにおける各ゴールを目指しながら適切な支援を行っていく。	

事 業 の 一 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説 明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	青少年相談員活動推進事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係				
	事業期間	昭和42年度 ~ 未設定	事業年齢	53歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市青少年相談員協議会運営費補助金交付要綱			
		まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無				
	市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計			
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無				款 項	民生費	児童福祉費		
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	吉川市青少年相談員が行う事業			手 段 (どのよう な事業を行 うのか)	目 細目	児童福祉総務費	児童健全育成事業	
		対象年齢	18	36				執行方法	補助・負担等 要綱に基づき活動費の一部を補助している	
意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		吉川市青少年相談員が、事業に参加する子どもたちに適切な助言や指導を行うとともに、良き相談相手となる。			青少年相談員協議会が行う事業に対し、補助金の交付を行う。					
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)				<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30420201
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303203									

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	146	242	146	0	△ 242	146	146	
	② 人件費		78	77	79	76	△ 2	76	76
		正職員投入人員	0.01人	0.01人	0.01人	0.01人	0	0.01人	0.01人
		正職員人件費	78	77	79	76	△ 2	76	76
	③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0			
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	224	319	225	76	△ 244	222	222	
資 源	⑥ 国庫支出金					0			
	国補助率								
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他					0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	224	319	225	76	△ 244	222	222	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 青少年相談員	人	10	10	10	10	10
	県から委嘱されている人数		10	10	7		
活 動 指 標	① 会議及び研修会参加者人数	人	2	2	2	2	2
	青少年相談員の会議及び研修に参加した人数		2	2	0		
	② 事業開催回数	回	4	4	1	1	1
	実施したイベント数		4	3	0		
成 果 指 標	① 事業参加者の青少年相談員に対する満足度	%	100	100	100	100	100
	事業に参加した方へのアンケート結果		100	100	-		
	②						

評価年度 の 主な 取組	令和2年度 吉川市青少年相談員活動事業実績 ※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響から、事業の実施実績なし。	

事業 性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	性	対象・手段		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	青少年相談員活動は、児童の健全育成に寄与するものであり、その活動に対して市が支援することは妥当である。健全な児童の育成はまちの将来のためにも必要なことであり、青少年相談員の活動意義は大きい。			
意図			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
役割分担 (行政関与)			<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	吉川市青少年相談員協議会運営費補助金交付要綱に基づき、青少年の健全な育成を目的とした活動を行う吉川市青少年相談員協議会に対し補助金を交付、運営に係る事務を実施する。				
業 効 性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)		平成30年度	令和元年度	
		活動指標	0% ★ 達成度がかなり低い	② 事業開催回数 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	75.00% ★★★ 達成度がやや低い		
	成果指標	評価不可	① 事業参加者の青少年相談員に対する満足度 (増加目標指標)	100.00% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	財政的な支援を継続的に行うことにより、成果向上の余地はあり、基本計画に対しても貢献度は高い。				
	上位施策への貢献度		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
業 効 率 性	単位当たりコスト変動率		令和2年度	単位当たりコスト換算指標		平成30年度	令和元年度	
			評価不可	事業開催回数	64.24% 減少している	190.38% 増加している		
	コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	活動指標を単位として換算 単位：円/回 55,915.00円 106,450.00円 会費、事業参加者からの参加費、傷害保険料等を随時徴収している。青少年相談員活動に対する補助事業であり、コスト改善と受益者負担の余地はない。				
	受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改 革 改 善	これまでの改革・改善内容	県内では事業が縮小傾向にある中で、吉川市の青少年相談員委嘱者数は、現状維持に努めている。事業参加者の満足度が高いことから、より参加者が増加するよう、事業の周知の方法の工夫について、協議会に働きかけている。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	新型コロナウイルス感染症などの社会情勢について情報共有を図ることにより、活動の実施についてよりよい選択をした。	

事業 の 一 次 方 向 性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	子ども医療費支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係			
	事業期間	昭和48年度 ~ 未設定	事業年齢	47歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市子ども医療費支給に関する条例			
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費		
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費 医療費支給事業		
	目的	対象(誰を、何を)	(直接の対象)15歳に達する日以後最初の3月31日に達するまでの子ども(最終的な対象)その保護者 対象年齢 00 15 0歳から15歳に達する年度末まで			執行方法	直営		
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	子どもの医療費を支給することにより、子育て中の家庭の経済的負担を軽減させる。			手段(どのような事業を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象者の受給資格登録を行い、資格証を交付する。</li> <li>対象者の医療費(保険負担分)を助成する。</li> </ul>				
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ひとり親家庭等医療費支給事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420401 子ども医療費受給資格証交付申請				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303204			30420404 子ども医療費支給申請					

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	295,836	293,692	257,436	231,332	△ 62,360	286,022	286,022
	② 人件費	7,222	7,194	6,398	5,226	△ 1,967	5,226	5,226
	正職員投入人員	0.93人	0.93人	0.81人	0.69人	△ 0.24人	0.69人	0.69人
	正職員人件費	7,222	7,194	6,398	5,226	△ 1,967	5,226	5,226
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)	1,708	1,985	1,825	1,339	△ 646	2,295	2,295	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	304,766	302,871	265,659	237,897	△ 64,974	293,543	293,543	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金	38,062	35,542	31,891	26,952	△ 8,590	34,979	34,979
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	14	8	9	8	0	10	10	
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	266,690	267,321	233,759	210,937	△ 56,384	258,554	258,554
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	15歳以下の子どもの数		人	11,480	11,422	11,000	11,000	11,000
		登録している子どもの数(3月1日現在)			11,343	11,172	11,084		
活動指標	①	子ども医療費支給件数		件	165,000	170,000	140,000	140,000	140,000
		子ども医療費申請書の件数及び医療費明細書の件数			167,348	164,763	120,842		
成果指標	①	受給資格登録者率		%	99.3	99.3	95.0	95.0	95.0
		登録している子どもの数/15歳以下の子どもの総数(3月1日現在)			98.4	98.6	98.8		
	②	子ども医療費の助成額		千円	287,637	290,641	258,000	258,000	258,000
		実際に支給した額			287,127	281,315	219,939		



評価年度の主な取組	子ども医療費支給事業(令和2年度実績)				
	支給件数		支給総額	医療費期間証明事務件数	事務報償費支払い額
	入院	489 件	18,048,096 円	2,174件	217,400円
	通院	121,127 件	201,849,192 円		
合計	121,616 件	219,897,288 円			

事業性評価	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	子育て支援のひとつとして行政が医療費を助成することで、子育て世帯の経済的負担が軽減され、子どもが必要な医療を必要な時に受けられるようになるため、妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					吉川市子ども医療費支給に関する条例に基づいているため、妥当である。
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
			活動指標	86.32% ★★★★ 概ね達成された	① 子ども医療費支給件数 (増加目標指標)	101.42% ★★★★★ 達成された	96.92% ★★★★★ 概ね達成された	
		成果指標	104.00% ★★★★★ 達成された	① 受給資格登録者率 (増加目標指標)	99.09% ★★★★★ 概ね達成された	99.30% ★★★★★ 概ね達成された		
		成果向上の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	該当者に対しては制度を周知しており、成果向上は難しいものの、子育て世帯が安心して必要な医療を受けられることから有効性は高い。また、直接的な経済支援を行っていることから、基本計画の「子どもの健やかな成長の支援」の実施に貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
107.10% 若干増加している 1,968.66 円			子ども医療費支給件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	98.63% 若干減少している 1,821.15 円	100.94% ほぼ変動していない 1,838.22 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもが必要な医療を受けられるようになることから、現時点において受益者負担を求めることは難しい。県費補助対象の拡大などについては引き続き市長会等を通じて求めていく。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成28年度から市内医療機関での受診に係る子ども医療費の審査支払委託事務を外部委託したことにより、事務負担の軽減と効率化、事務費の縮減を図ることができた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。</td> <td>新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	子ども医療費支給の制度・請求等に関する市ホームページによる情報発信や、市内各サービスセンターでの申請、郵送による医療費の申請を引き続き受け、制度利用の機会をより身近に提供できるよう引き続き実施していく。					

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	ひとり親家庭等医療費支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係		
	事業期間	平成5年度 ~ 未設定	事業年齢	27歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例		
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度		
	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計	
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費	児童福祉費
	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費	医療費支給事業
	目的	対象(誰を、何を)	(直接の対象) ひとり親家庭等の18歳(一定の障がいがある場合は20歳)に達する日以後の最初の3月31日までの間にある児童、その児童を養育している一定所得基準未満である母(父)または養育者 対象年齢 15 18 子ども、重度医療費対象以外			手段(どのような事業を行うのか)	対象者の受給資格の審査、登録を行い、資格証を交付する。 受給資格者から医療機関受診後に支給申請を受け、医療費(保険診療分)の一部を助成する。	
類似事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども医療費支給事業			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 30420501 ひとり親家庭等医療費受給者証交付申請			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303205			30420505 ひとり親家庭等医療費支給申請				

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	13,752	13,474	13,065	12,651	△ 823	13,592	13,592
	② 人件費	2,252	2,398	2,449	2,954	556	2,954	2,954
	正職員投入人員	0.29人	0.31人	0.31人	0.39人	0.08人	0.39人	0.39人
	正職員人件費	2,252	2,398	2,449	2,954	556	2,954	2,954
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)	604	662	676	756	94	659	659	
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	16,608	16,533	16,190	16,361	△ 173	17,205	17,205	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金	6,734	6,580	7,001	6,370	△ 210	6,659	6,659
	県補助率	1/2	1/2	1/2	1/2		1/2	1/2
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	9,874	9,953	9,189	9,991	37	10,546	10,546
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
標 設	① 支給対象者数	人	791	743	743	700	700
	3月1日現在の支給対象者数		700	648	620		
	② 市内児童数(18歳以下)	人	13,900	13,850	13,850	13,700	13,700
	3月1日現在の18歳以下の子どもの総数		13,814	13,597	13,416		
活 動 指 標	① 支給件数	件	5,575	5,385	5,200	5,200	5,200
	支給件数(医療費支給申請書の件数)		5,267	5,475	5,113		
	②						
実 績	① 医療費の支給率	%	62.2	65.1	65.1	65.0	65.0
	支給件数/延べ支給対象者数		62.8	69.1	69.5		
	② ひとり親家庭等医療費の助成額	千円	14,530	14,060	13,750	13,750	13,750
	実際に支給した助成額		13,469	13,193	12,477		

評価年度 の 主な 取組	ひとり親家庭等医療費支給実績件数				
		支給件数	支給総額	医療機関証明事務報酬	事務報酬支払総額
	入院	31 件	1,066,874 円	458件	45,800円
	通院	5,082 件	11,410,711 円		
計	5,113 件	12,477,585 円			

事業 業 評 価	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	経済的基盤が比較的弱い一定のひとり親家庭等に対して、医療費助成を行うことは、家庭の生活の安定と自立を支援し、福祉の増進を図ることになるため、妥当である。  吉川市ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例に基づき、施行しているため妥当である。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
			活動指標	98.33% ★★★★★ 概ね達成された	① 支給件数 (増加目標指標)	94.48% ★★★★★ 概ね達成された	101.67% ★★★★★ 達成された	
		成果指標	106.70% ★★★★★ 達成された	① 医療費の支給率 (増加目標指標)	100.96% ★★★★★ 達成された	106.14% ★★★★★ 達成された		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	対象家庭と見込まれる場合には、制度を周知することで成果の向上が見込まれる。医療費助成は、基本計画のひとり親家庭等への支援に貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
105.96% 若干増加している 3,199.81 円			支給件数 活動指標を単位として換算 単位：円/件	98.56% 若干減少している 3,153.30 円	95.77% 若干減少している 3,019.81 円			
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経費の大半が扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、埼玉県補助圏内(住民税課税者に対しては、助成額から自己負担額を控除)のとおり助成しており、受益者負担は適正であると考えられる。					
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし							

改革 改 善	これまでの改革・改善内容	市内医療機関に対して事務報償費を支払い、申請書の受領及び証明を委任することにより申請手続きを簡素化し、受給者の利便性を図っている。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。</td> <td>新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
新型コロナウイルスの影響を受け、医療機関を受診することによる感染を懸念するなど、受診を控える傾向があり、受けるべき医療を受けていない可能性がある。	新型コロナウイルスの感染拡大の影響から衛生観念が高まり、感染症に罹患するリスクが軽減され、医療機関の受診が減少する。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	子ども医療費支給の制度・請求等に関する市ホームページによる情報発信や、市内各サービスセンターでの申請、郵送による医療費の申請を引き続き受け、制度利用の機会をより身近に提供できるよう引き続き実施していく。					

事業 の 一 次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次 評 価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

Table with 10 columns: 基, 本, 事, 項, 事務事業名, 所管部署名, 事前評価日, 根拠法令等, 事業区分, 事務事業の性質, 直接事業費, 予算科目, 会計区分, 執行方法, 類似事業, 前年度事務事業, 業務プロセス (No.・名称)

Table with 10 columns: 区分, 区分, 平成30年度決算(千円), 令和元年度決算(千円), 令和2年度 予算(千円), 令和2年度 決算(千円), 増減額(千円), 令和3年度当初(千円), 令和4年度計画(千円)

Table with 8 columns: 区分, 指標名 (上段), 単位, 平成30年度 目標(見込)値, 令和元年度 目標(見込)値, 令和2年度 目標(見込)値, 令和3年度 計画(見込)値, 令和4年度 計画(見込)値



評価年度の主な取組	ひとり親家庭等自立支援事業(令和2年度)		
	1. 母子・父子自立支援員による相談件数及び相談内容		
	相談件数	242件	
	2. 東部中央福祉事務所による出張個別相談会実施回数		
	実施回数	3回	
	内容	就労相談・貸付相談 ※ハローワークによる就労相談会は感染防止対策のため実施なし	
3. 高等職業訓練促進給付金支給実績			
件数	支給金額	内容	
9件	7,915,000円	看護師・社会福祉士・美容師・理容師	
4. 高等職業訓練修了給付金支給実績			
件数	支給金額		
4件	200,000円		
5. 自立支援教育訓練給付金支給実績			
件数	支給金額	内容	
3件	105,072円	介護職員初任者研修 介護職員実務者研修・日商簿記	
6. 高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金支給実績			
件数	0件		

区分	評価結果		判断理由(特記事項)					
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	狙うべき対象は、離婚を考えている方、ひとり親家庭の方などであり、現在の対象と一致しており妥当である。孤立しがちなひとり親家庭の様々な相談を通じて、不安や悩みを解消し、制度や修学案内等も併せて行うことで、ひとり親家庭の自立を促進するため、手段、意図ともに妥当と考える 各給付金については国が進める母子家庭等対策総合支援事業に位置付けられたものであり、対象の拡大・縮小の余地はない。事業の意図は、ひとり親家庭等の自立の促進であることから、そのための相談・指導・情報提供を行うものであり、拡大・縮小の余地はない。 福祉資金貸付制度などの県事業においても、ひとり親家庭に対する支援を行っているが、母子・父子自立支援員の設置など市が求められる責任は高まっており、相談者が身近な市役所で相談できるという利便性が高いことから、行政の役割分担として妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討						
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	102.07% ★★★★★ 達成された	① 母子・父子自立支援員の設置日数 (増加目標指標)	102.76% ★★★★★ 達成された	102.07% ★★★★★ 達成された		
	成果指標	161.33% ★★★★★ 達成された	① 相談受付件数 (増加目標指標)	124.17% ★★★★★ 達成された	98.67% ★★★★ 概ね達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	ひとり親家庭への支援策に係る他事業(手当支給、医療費助成等)との連携を図ることで、成果向上の余地はある。ひとり親家庭の自立を促進することで、基本計画のひとり親家庭への支援に貢献している。					
効率性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						
	単位当たりコスト変動率	令和2年度 92.24% 若干減少している 290,810.08 円	新規相談者	平成30年度 89.28% 減少している 152,858.98 円	令和元年度 206.25% 増加している 315,276.50 円			
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	事業費の大半が支援員の件数費と扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、受益者負担を求めることは、ひとり親家庭等が気軽に相談できる機会を失うこととなるため、適正化の余地はない。					
受益者負担適正化の余地	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成26年度から父子家庭への支援も対象となり、さらに、平成28年度からの制度改革により、自立支援教育訓練給付金については支給金額等が拡充、高等職業訓練促進給付金については給付期間や対象資格が拡充された。また、公共職業安定所(ハローワーク)と連携した就労相談会を実施し、相談者にとって身近な場所ですら就労相談が行えるよう改善を図った。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	支援員の件数費と扶助費が主な経費であり、事業費のコスト改善の余地はないが、総合振興計画におけるまちづくりの基本理念のうち、「市民の幸福感の向上」につながるよう、引き続き母子・父子自立支援員による相談体制の充実を図っていく。また、ひとり親を安定的な雇用に繋げられるよう、引き続き各給付制度を案内しながら、SDGsにおけるバックカスティングの視点を取り入れ、ひとり親の就業ニーズや必要とする情報について機会を捉えて把握することを今後の課題とする。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	児童扶養手当支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係				
	事業期間	昭和37年度 ~ 令和2年度		事業年齢	58歳					
	基本 の 計 画 関 係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			事前評価日	令和2年11月30日 事前評価責任者 櫻井 健一			
		まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			根拠法令等	児童扶養手当法			
		施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務			
	実施 計画 の 位置 付け	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別 計画 の 位置 付け	個別計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
		市まち・ひと・しごと 創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』				款 項	民生費		児童福祉費
	事 目 的 的	対象 (誰を、何を)	(直接の対象) 父又は母がいない、父又は母に一定の障がいがある等で18歳到達後最初の 年度末までの児童(一定の障がいがある場合は20歳未満)を養育するひとり 家庭等			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	目 細目	児童措置費 児童扶養手当支給事業		
対象年齢		00 18		18歳到達後最初の年度末(または20歳未満)						
意図 (対象にどの ような状態に なってほしい のか)		手当を支給することにより、ひとり親家庭等の生活の安定と 自立の促進が図られる。								
執行方法		一部委託 電算システムを一部委託								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		30420701 児童扶養手当認定請求			
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303207					30420705		児童扶養手当現況届		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	232,844	289,391	220,050	216,292	△ 73,099	228,015	228,015	
	② 人件費	6,989	7,194	5,845	9,770	2,577	9,770	9,770	
		正職員投入人員	0.90人	0.93人	0.74人	1.29人	0.36人	1.29人	1.29人
		正職員人件費	6,989	7,194	5,845	9,770	2,577	9,770	9,770
	会計年度任用職員人件費					0			
③ 間接経費(加算)	1,876	1,984	1,691	2,503	519	2,502	2,502		
④ コスト対象外(除外)					0				
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	241,709	298,569	227,586	228,566	△ 70,003	240,287	240,287		
資 源	⑥ 国庫支出金	77,547	96,300	73,223	73,223	△ 23,077	75,939	75,939	
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3	
	⑦ 県支出金					0			
	県補助率								
	⑧ 市債					0			
⑨ その他	40				0				
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0				
受益者負担率(⑩÷⑤)									
C 吉川市年間負担経費(A-B)	164,122	202,269	154,363	155,343	△ 46,926	164,348	164,348		
D 補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独						

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 児童扶養手当受給資格者数	人	600	600	600	550	550
	3月1日現在の人数		584	544	511		
②	市内児童数(18歳以下)	人	14,000	13,850	13,850	13,700	13,700
	3月1日現在の18歳以下の子どもの総数		13,814	13,597	13,416		
活 動 指 標	① 受給者数	人	550	530	530	500	500
	受給資格者数から停止者数を引いた数(3月1日現在)		508	474	442		
②	広報掲載回数	回	1	1	1	1	1
	制度概要の広報掲載回数		1	1	1		
③	支給対象児童数	人	830	810	810	750	750
	3月1日現在の人数		763	733	685		
成 果 指 標	① 一部支給停止事由該当者数(減額適用)	人	0	0	0	0	0
	一部支給停止事由に該当した受給者数(減額適用)		2	2	1		
②	支給対象者率	%	6.1	5.9	5.9	6.0	6.0
	支給対象児童数÷18歳以下の児童数		5.5	5.3	5.0		



評価年度の主な取組	令和2年度	
	(1)児童扶養手当支給事業	
	支給人数	支給総額
	2,671人	215,948,070円
	(2)受付件数	
認定	63件	
喪失	43件	
※年齢到達を除く		

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	ひとり親家庭等の生活の安定と自立を支援するために、受給者の所得に応じた手当額を支給する経済的支援であり、妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	83.40% ★★★★ 概ね達成された	① 受給者数 (増加目標指標)	92.36% ★★★★ 概ね達成された	89.43% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	84.75% ★★★★ 概ね達成された	② 支給対象者率 (増加目標指標)	90.16% ★★★★ 概ね達成された	89.83% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	対象家庭と見込まれる場合には、制度を周知することで成果の向上が見込まれる。手当支給という直接的な経済支援であり、自立の促進を図ることからも総合的な子育て支援策として有効性は高い。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		82.10% 減少している 517,116.54 円	受給者数 活動指標を単位として換算 単位: 円/人	99.67% ほぼ変動していない 475,805.18 円	132.38% 増加している 629,891.89 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	経費の大半が扶助費であるため、コスト改善の余地はない。また、所得に応じた手当支給事業であるため受益者負担の余地はない。				
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成17年度から母子自立支援員を設置(法改正により平成26年度から母子・父子自立支援員)し、制度の案内と併せて就業案内等、ひとり親家庭等への自立の促進を行っている。平成28年5月の法改正により、平成28年8月分から、第2子及び第3子以降の加算額が最大で倍額に増額された。令和2年10月の法改正により、令和3年3月認定分から、児童扶養手当と障害基礎年金等との併給調整の見直しが行われた。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	広報やホームページなどによる、制度の周知及び案内。他部署との情報共有により、必要な人に必要な支援を提供できるよう実施。	

事業(一次)の方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			

基 本 本 事 項	事務事業名	児童手当支給事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子ども給付係				
	事業期間	平成24年度 ~ 未設定	事業年齢	8歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童手当法				
	基本の計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(2)子どもの健やかな成長の支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	予 算 科 目	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			会計区分	一般会計			
	目的	対象(誰を、何を)	0歳から中学校修了(15歳になった後の最初の3月31日)前の子どもを養育している方			款 項	民生費		児童福祉費	
	意 図(対象にどのような状態になってほしいのか)	対象年齢	0	15	目 細目	児童措置費		児童手当支給事業		
	類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			執行方法	一部委託 電算システムを一部委託				
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			303208	業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		30420801 児童手当・特例給付認定請求	30420805 児童手当・特例給付現況届	

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)	
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)			
投 入 コ ス ト	① 事業費	1,321,003	1,303,087	1,295,279	1,279,578	△ 23,509	1,292,449	1,292,449	
	② 人 件 費	正職員投入人員	0.74人	0.83人	1.25人	1.27人	0.44人	1.27人	1.27人
		正職員人件費	5,747	6,420	9,874	9,619	3,199	9,619	9,619
		会計年度任用職員人件費			1,817	1,815	1,815	1,849	1,849
		③ 間 接 経 費 (加算)	1,542	1,771	2,817	2,464	693	1,354	1,354
④ コスト対象外(除外)					0				
	⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	1,328,292	1,311,278	1,309,787	1,293,476	△ 17,802	1,305,271	1,305,271	
資 源	⑥ 国 庫 支 出 金	国 補 助 率	2/3	2/3	2/3	2/3	2/3	2/3	
		⑦ 県 支 出 金	199,319	196,744	196,768	193,726	△ 3,018	195,594	195,594
	県 補 助 率	1/6	1/6	1/6	1/6		1/6	1/6	
	⑧ 市 債					0			
	⑨ そ の 他	24	3		4	1	5	5	
	⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	211,929	209,476	210,195	200,460	△ 9,016	211,880	211,880	
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	中学校3年生修了前の子ども	人	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
		15歳以下の子どもの数		11,519	11,328	11,208		
活 動 指 標	①	受給者数	人	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400
		毎年3月時点での受給者数		6,315	6,216	6,178		
	②	広報掲載回数	回	2	2	2	2	2
		制度概要の広報掲載回数		2	2	2		
成 果 指 標	①	制度利用率	%	92	92	92	92	92
		受給対象子どもの数/中学校3年生修了前の子どもの数		92	92	92		
	②							

評価年度の主な取組	児童手当支給事業				非被用者			
	被用者	月額	延べ児童数	支給額	3歳未満	月額	延べ児童数	支給額
	3歳未満	15,000円	16,313人	244,695,000円	3歳未満	15,000円	2,728人	40,920,000円
	3歳以上	10,000円	67,951人	679,510,000円	3歳以上	10,000円	13,520人	135,200,000円
	中学校終了前	15,000円	6,464人	96,960,000円	中学校終了前	15,000円	1,626人	24,390,000円
	被用者(計)		90,728人	1,021,165,000円	非被用者(計)		17,874人	200,510,000円
	特例給付	月額	延べ児童数	支給額				
	被用者	5,000円	9,779人	48,895,000円				
	非被用者	5,000円	1,055人	5,275,000円				
	特例給付(計)		10,834人	54,170,000円				

事業区分	対象・手段	評価結果		判断理由(特記事項)				
		<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	児童手当法に基づく全国的に同様の制度であるため、手段及び意図について妥当である。				
事業性	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	児童を養育している保護者に手当を支給することは、子育て家庭の経済面の安定に大きく寄与するものであり、少子化が進む現在において、行政がその役割を担うことは妥当である。				
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討					
事業有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度		
		活動指標	96.53% ★★★★ 概ね達成された	① 受給者数 (増加目標指標)	98.67% ★★★★ 概ね達成された	97.13% ★★★★ 概ね達成された		
	成果指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 制度利用率 (増加目標指標)	100.22% ★★★★★ 達成された	100.00% ★★★★★ 達成された			
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	今後も継続してすべての対象者が受けられるようにすることが必要である。手当を支給することで子育て家庭への経済面での支援となっており、基本計画の「子どもの健やかな成長の支援」に大きく貢献している。				
事業効率的性	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし					
	単当たりコスト変動率	令和2年度	平成30年度	令和元年度	変動率			
		99.25% ほぼ変動していない 209,368.03円	受給者数 活動指標を単位として換算 単位:円/人 若干減少している 210,339.13円	100.29% ほぼ変動していない 210,952.03円	120%	100%	80%	
コスト改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	支給に関する事務については、効率的に行っており、現在のところ改善の余地はない。また、手当制度であるとともに、所得制限も導入されており、受益者負担適正化の余地はない。					
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	手続き漏れがないよう市民全体への周知を図る必要があるため、転入届、出生届、現況届等の手続き時に制度及び申請案内をするよう徹底している。また、市民の利便性を高めるため、郵送や各市民サービスセンターで手続きができることの周知も毎年徹底している。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>電子申請が普及している一方で、紙媒体でしか提出できない書類や、窓口での確認が必要な場合が多く、電子申請の受け付けができる手続きが限られている。</td> <td>電子申請については、埼玉県のシステムを利用している。児童手当に係る一部の手続きは、国の標準様式及びマイナポータル(びったりサービス)を利用することが検討されており、電子申請がより進む可能性有。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	電子申請が普及している一方で、紙媒体でしか提出できない書類や、窓口での確認が必要な場合が多く、電子申請の受け付けができる手続きが限られている。	電子申請については、埼玉県のシステムを利用している。児童手当に係る一部の手続きは、国の標準様式及びマイナポータル(びったりサービス)を利用することが検討されており、電子申請がより進む可能性有。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
電子申請が普及している一方で、紙媒体でしか提出できない書類や、窓口での確認が必要な場合が多く、電子申請の受け付けができる手続きが限られている。	電子申請については、埼玉県のシステムを利用している。児童手当に係る一部の手続きは、国の標準様式及びマイナポータル(びったりサービス)を利用することが検討されており、電子申請がより進む可能性有。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	広報やホームページなどによる情報発信や他部署との情報共有により、対象者に漏れなく制度を提供できるよう実施した。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	児童館施設管理事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 児童館ワンダーランド			
	事業期間	平成1年度 ~ 未設定	事業年齢	31歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法			
	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費		
	個別計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			目	細目	児童館費 児童館管理運営事業		
	目的	対象(誰を、何を)	児童館施設利用者			手段 (どのような事業を行うのか)	施設・設備の維持管理業務及び遊具等の貸出業務を行う。		
	対象年齢	00	99	全年齢					
意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	安全で快適に施設を利用できる								
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		30330101	児童館遊具の安全点検・管理	
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303301					30330103	児童館使用許可申請		

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	10,364	15,030	11,073	10,665	△ 4,365	8,803	8,794
	② 人件費	3,339	7,735	7,899	2,651	△ 5,084	2,651	2,651
	正職員投入人員	0.43人	1.00人	1.00人	0.35人	△ 0.65人	0.35人	0.35人
	正職員人件費	3,339	7,735	7,899	2,651	△ 5,084	2,651	2,651
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	13,703	22,765	18,972	13,316	△ 9,449	11,454	11,445	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0	300	
	国補助率						1/2	
	⑦ 県支出金			500	498	498		
	県補助率			1	1			
	⑧ 市債					0		
⑨ その他					0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)					0			
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	13,703	22,765	18,472	12,818	△ 9,947	11,154	11,445
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対象指標	①	市内18歳未満の人口		人	13,100	13,000	13,000	13,000	13,000
		各年4月1日現在の市内18歳未満の人口			13,002	12,785	12,685		
活動指標	①	開館日数		日	283	279	223	280	285
		選挙等の臨時休館等を除き、1年間に開館した日数			282	250	216		
	②	遊具の点検実施日数		日	296	292	232	293	298
		1年間に遊具の点検を実施した日数			295	286	291		
成果指標	①	児童館利用者数		人	42,000	42,000	14,500	32,500	32,500
		1年間の児童館利用者総数			44,013	38,780	14,619		
②									

評価年度の主な取組	1	区分	市内(人)	市外(人)	合計(人)		
		児童	9,799	897	10,696		
		大人	3,305	618	3,923		
		計	13,104	1,515	14,619		
	2	契約名	金額(円)	内容			
		清掃及び館内消毒	2,783,726	開館時の毎日清掃、月1回休館日の定期清掃及び年1回の館内消毒			
		警備委託	356,400	閉館時の館内警備			
		空調設備保守点検	325,600	館内空調設備を年4回保守点検			
	3	工事修繕名	金額(円)	内容	工事修繕名	金額(円)	内容
		消防設備等修繕	979,000	体育館自動火災報知機等の交換修繕	高圧受電設備修繕	381,700	高圧コンデンサの修繕
	非常用照明修繕	913,000	館内照明器具及び蓄電池の交換修繕	窓枠等修繕	135,300	換気(コロナ対策)のため、窓枠を修繕	

事業評価	区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童館は、児童福祉法に基づく児童厚生施設として、乳幼児から小学生を中心とした世代に利用されている。対象である児童館利用者が安全に施設を利用するためには、日ごろの点検や、修繕・補修等(※1)が欠かせない。また、児童館で行っている竹馬等の遊具の貸出(※2)は、児童に健全な遊びを与え、その健康増進を図るという児童館の設置目的を達成することに寄与している。これらの理由から、対象・手段・意図はいずれも妥当である。 (※1)簡易な修繕や補修については、職員で行っている。 (※2)コロナ禍以降、一部遊具の貸出及び持ち込みを制限している。				
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
		役割分担(行政関与)	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討					
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
			活動指標	96.86% ★★★★ 概ね達成された	① 開館日数 (増加目標指標)	99.65% ★★★★ 概ね達成された	89.61% ★★★★ 概ね達成された	
		成果指標	100.82% ★★★★★ 達成された	① 児童館利用者数 (増加目標指標)	104.79% ★★★★★ 達成された	92.33% ★★★★ 概ね達成された		
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	平成28年度以降、児童館の利用者数は特に増加傾向が続いてきたが、コロナウイルスの影響による令和元年度末からの臨時休館が影響し、令和2年度は年間の利用者数が大きく落ち込んだ。一方で、令和2年度は目標値を達成したものの、コロナを見越した目標設定であったことから、成果向上の余地はある。また、児童館利用者が安全で快適に施設を利用するため、施設・設備の適切な維持管理を行うことは、基本計画における「地域における子育ての支援」等、上位施策に高く貢献している。				
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
			155.17% 増加している 910.87円	児童館利用者数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	92.69% 若干減少している 311.34円	188.55% 増加している 587.03円		
コスト改善の余地		<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	館の運営について、民間事業者への委託などの手法が考えられ、コスト改善の余地がある。一方で、直営ならではの利点として、日ごろの館運営を通じた適切なタイミングでの修繕等を実施することができることが挙げられる。また、施設特性を踏まえて入館料を無料としており、受益者負担は適正化されている。 (変動率の補足説明)令和元年度に4,937,760円の出入口修繕等、多額を要する修繕を行ったため、平成30年から令和元年度の変動率が特に大きくなっている。					
受益者負担適正化の余地		<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	平成30年度に館内照明のLED化、西側広場の遊具・ベンチ設置等の整備を行った。令和元年度は、地盤沈下による著しい段差が生じた入口前の階段の修繕工事を実施した。令和2年度は、体育館における自動火災報知機や排煙設備の交換などの消防設備関連の修繕を行ったほか、コロナ対策として、換気を目的とした窓枠修繕(網戸の設置)や手洗いの接触を最小限とするため、蛇口式から立水栓式に変更する手洗器修繕を行った。開館後30年以上を経過していることから、各所に劣化が目立つため、今後も適切な維持管理を行っていく。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要であり、調査及び修繕に要する予算要求を行っていく。また、福祉避難所に指定されていることから、エレベーター等の改修も検討する。</td> <td>開館後32年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要であり、調査及び修繕に要する予算要求を行っていく。また、福祉避難所に指定されていることから、エレベーター等の改修も検討する。	開館後32年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
建物の経年劣化が激しい。特に、各所における雨漏りは早急に改善が必要であり、調査及び修繕に要する予算要求を行っていく。また、福祉避難所に指定されていることから、エレベーター等の改修も検討する。	開館後32年を経過し、地域に児童館が根付いているという確たる実感と実績がある。施設の維持管理には費用や手間を要するものの、引き続き地域に愛される児童館であるよう、適切な管理運営を行っていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	子どもたちの居場所として地域に定着しているほか、相談業務等の実施による子育て支援拠点の一つとしても機能していることから、引き続き適切な施設の維持管理を実施し、子どもをはじめとした市民満足度の向上に寄与する。特に、児童館が立地する美南地区は若年層や子育て世帯が多く、今後の定住も見据え、地域特性に応じたサービス向上を目指す必要がある。施設全般としては、各箇所の経年劣化が進んでおり、令和2年度に策定した個別施設計画の適切な運用を図りつつ、緊急性の高い箇所を優先して修繕すべく、資源を投入していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうで継続」の場合の展開方針	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡大</td> <td><input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)</td> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> <td><input type="checkbox"/> 効率化</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化		
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
一次評価日	令和3年5月28日					
	一次評価責任者	櫻井 健一				

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうで継続」の場合の展開方針	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 拡大</td> <td><input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)</td> <td><input type="checkbox"/> 縮小</td> <td><input type="checkbox"/> 効率化</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化		
	説明					
二次評価日	令和3年6月23日					

Table with project details including '児童館運営事業' (Children's Center Operation Project), '基' (Basic), '本' (Main), and '事' (Project) sections. It covers items like '事業期間' (Project Period), '事業区分' (Project Division), '実施計画' (Implementation Plan), and '事業プロセス' (Business Process).

Table showing financial breakdown by '区分' (Division) and '項目' (Item). It includes columns for '平成30年度決算' (FY2018 Actuals), '令和元年度決算' (FY2019 Actuals), '令和2年度' (FY2020) with '予算' (Budget), '決算' (Actuals), and '増減額' (Change), and '令和3年度' (FY2021) and '令和4年度' (FY2022) '計画' (Plan).

Table for '目標設定' (Target Setting) and '実績' (Actuals). It lists '指標名' (Indicator Name), '単位' (Unit), and '計画(見込)値' (Plan/Forecast Value) for various metrics like '市内18歳未満の人口' (Population under 18 in city) and '開館日数' (Number of days open).

評価年度の主な取組	1 定例事業(1回/週 開催)			2 定例事業(1回/月 開催)			4 未就園児向け事業		
	事業名	回数(回)	参加者(人)	事業名	回数(回)	参加者(人)	事業名	回数(回)	参加者(人)
	ワンダーシネマ	50	835	サンサンランド	0	0	おえかきらんど	5	61
	わくわくらんど	20	136	マンカラ大会	5	67	ワンダーサーキット	6	151
	親子でスポーツ	37	656	市民天体観望会	6	252	おはなしらんど	5	59
	スポーツランド	23	262	プラネタリウム映画鑑賞会	2	33	びりびりらんど	4	125
	工作ランド	15	114	合計	13	352	合計	20	396
	あそぼうタイム	70	1,101	3 特別事業			各種事業計		
	ドレミファランド	0	0	事業名	回数(回)	参加者(人)	回数(回)	参加者(人)	
	宿題レスキュー隊	29	123	夏季休業中	6	347	(1+2+3+4)	311	6,164
合計	244	3,227	夏季休業外	4	404				
			ワンダークラブ	24	1,438				
			合計	34	2,189				

事業性	区分		評価結果		判断理由(特記事項)					
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討	児童館は、児童福祉法第40条に規定される児童厚生施設として、子どもに健全な遊びを提供し、その心身の健康を増進し情操を豊かにすることを目的としていることから、対象・手段、意図ともに妥当である。					
		意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討						
		役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当	<input type="checkbox"/> 要検討						
	有効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度			
			活動指標	84.05% ★★★★ 概ね達成された	② 事業開催回数 (増加目標指標)	103.86% ★★★★★ 達成された	96.00% ★★★★★ 概ね達成された			
		成果指標	102.73% ★★★★★ 達成された	① 事業参加者数 (増加目標指標)	123.40% ★★★★★ 達成された	94.34% ★★★★ 概ね達成された				
		成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	令和2年度は、コロナの影響による臨時休館期間があったほか、主催事業についても、中止または規模を縮小して実施することとなった。成果指標は達成したものの、令和元年度末から続くコロナの影響を踏まえ、目標値を例年より低く設定したこと起因しており、成果向上の余地がある。また、本事業は、基本計画の「児童館を拠点とした子どもたちの体験事業等を通し、児童健全育成のための事業推進」に合致し、「地域における子育て支援」に寄与することから、上位施策への貢献度は高い。					
		上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし						
	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度				
289.43% 増加している 4,179.75 円			事業参加者数 成果指標を単位として換算 単位：円/人	76.39% 減少している 1,437.77 円	100.44% ほぼ変動していない 1,444.12 円					
コスト改善の余地		<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	令和2年度はコロナによる臨時休館など、事業を実施しない時期があり、活動指標である事業開催回数は概ね達成されたものの、例年よりも回数が減少した分、単位当たりのコストは増加した。次年度以降については、コロナの感染状況に引き続き注視しつつも、人を大勢呼び込まず、十分な感染対策を講じることが可能な事業については、規模を縮小する、あるいは人数を制限するなどして、実施を検討していく。なお、受益者負担は、入館料等を徴取しておらず、適正化の余地はない。						
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし								

改革改善	これまでの改革・改善内容	子どもたちが様々な体験活動を通して、自ら考え行動する力を育み、物事を成し遂げた時の喜びを体感することを目的とし、登録型体験活動クラブ「ワンダークラブ」を実施している。毎年300名の市内小学生が活動しており、参加する児童に加え保護者からの事業への期待も高い。また乳幼児を対象とした4事業を毎月1回実施し、利用促進を図った。直近では、児童館利用者が他の利用者に児童館事業を紹介した結果、その方が新たな利用者となるなど、児童館への期待が高まっていることを実感しており、今後もニーズに応じた多様な事業展開を図っていきたい。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>各主催事業について、どうしても「人が集まって活動する」ことになるため、感染リスクの面から「事業開催そのものの可否」や「実施の場合の対策」をより精査する必要がある。</td> <td>児童館が立地されている地域特性から、子育て世帯が多く、児童館事業への期待が高い。特に「ワンダークラブ」に関しては、クラブへの加入希望者が列を作って並ぶほどの盛況ぶりである。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	各主催事業について、どうしても「人が集まって活動する」ことになるため、感染リスクの面から「事業開催そのものの可否」や「実施の場合の対策」をより精査する必要がある。	児童館が立地されている地域特性から、子育て世帯が多く、児童館事業への期待が高い。特に「ワンダークラブ」に関しては、クラブへの加入希望者が列を作って並ぶほどの盛況ぶりである。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
各主催事業について、どうしても「人が集まって活動する」ことになるため、感染リスクの面から「事業開催そのものの可否」や「実施の場合の対策」をより精査する必要がある。	児童館が立地されている地域特性から、子育て世帯が多く、児童館事業への期待が高い。特に「ワンダークラブ」に関しては、クラブへの加入希望者が列を作って並ぶほどの盛況ぶりである。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	児童館では、家庭や学校以外の「第3」(あるいは「第4」)の居場所として子どもたちの健全育成を目的とした事業を実施している。児童館が立地する地域では、特に若年層や子育て世帯が多いことから、今後も子どもの活動場所として、児童館への事業のニーズは引き続き高まっていくものと推察する。今後は、団体や個人を問わず、子どもの健全育成に携わる関係者の知見も取り入れながら、事業内容の更なる発展にチャレンジし、児童館を利用する子どもをはじめとした市民満足度の向上に寄与していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一			

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
二次評価日	令和3年6月23日					

基 本 本 事 項	事務事業名	天文科学運営事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 児童館ワンダーランド				
	事業期間	平成1年度 ~ 未設定	事業年齢	31歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	吉川市児童館条例及び児童館条例施行規則				
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	実施計画の位置付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			予算科目	会計区分	一般会計		
	目的	対象(誰を、何を)	全市民			手段(どのような事業を行うのか)	款	項	民生費 児童福祉費	
		対象年齢	00	99	全年齢		目	細目	児童館費 天文科学運営事業	
		意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	宇宙や天文科学への関心を高める。				執行方法	一部委託 プラネタリウム保守点検業務委託		
類似事業		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業務プロセス(No.・名称)		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		30330301	プラネタリウムの観覧(個人)
前年度事務事業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303303						30330303	市民天体観望会		

区分	区分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータルコスト	① 事業費	5,593	1,366	956	949	△ 417	2,070	1,635
	② 人件費	3,417	2,088	2,133	1,515	△ 574	1,515	1,515
	正職員投入人員	0.44人	0.27人	0.27人	0.20人	△ 0.07人	0.20人	0.20人
	正職員人件費	3,417	2,088	2,133	1,515	△ 574	1,515	1,515
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)					0			
④ コスト対象外(除外)					0			
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)	9,010	3,454	3,089	2,464	△ 991	3,585	3,150	
B 特定財源	⑥ 国庫支出金					0		
	国補助率							
	⑦ 県支出金					0		
	県補助率							
	⑧ 市債					0		
⑨ その他	2,000				0			
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)	104	145	104	19	△ 126	89	89	
受益者負担率(⑩÷⑤)	1.15%	4.20%	3.37%	0.76%		2.48%	2.83%	
C	吉川市年間負担経費(A-B)	6,906	3,309	2,985	2,445	△ 865	3,496	3,061
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input checked="" type="checkbox"/> 吉川市単独			

目	区分	指標名(上段)		単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計算式・説明(下段)			目標(見込)値	目標(見込)値	目標(見込)値		
対象指標	①	全市民		人	73,706	74,484	74,771	73,514	73,756
	②	全市民			72,877	73,014	73,217		
活動指標	①	プラネタリウム投影回数		回	250	250	107	250	250
	②	1年間にプラネタリウムを投影した回数			239	223	134		
	③	天体観望会開催回数		回	12	15	9	15	15
	④	1年間に天体観望会が実施できた回数			15	10	6		
成果指標	①	プラネタリウム観覧者数		人	5,200	4,500	550	3,000	3,000
	②	1年間にプラネタリウムを観覧した人の数			4,653	4,948	2,193		
	③	天体観望会参加人数		人	25	22	13	37	37
	④	天体観望会1回当たりに参加した人の数			24	24	42		

評価年度の主な取組	1 プラネタリウム投影回数及び観覧者数				
	区分	回数(回)	市内(人)	市外(人)	合計(人)
	一般投影	95	631	119	750
	団体投影	21	750	0	750
	学習投影	18	693	0	693
	計	134	2,074	119	2,193
	2 天体観望会				
	区分	回数(回)	参加者	1回当たり参加人数	
	天体観望会(月1回)	6	252	42.0	

事業性	区分		評価結果	判断理由(特記事項)			
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	全市民を対象に、宇宙や天文学への興味関心を高めることを目的とした当事業では、天候を問わず、星空を見ることが出来る「プラネタリウム」の投影や、実際の天体や季節特有の天文現象を観望する「天体観望会」を実施している。これらの手段は、いずれも児童館において全市民が気軽にリアルな天文現象を観望できる機会であり、本事業の目的及び市民満足度の向上に寄与することから、対象・手段及び意図は妥当である。 他自治体では、児童館の運営を指定管理者等に委託するケースも見受けられる。特に、天文学については、他自治体では学芸員が務めるケースも多いが、専門的な内容に偏り過ぎるきらいがあり、当館にはそぐわない。現時点では、「宙ボーイ」(市民ボランティア)による天文現象の解説が親しみやすく好評であることから、今後来館者のニーズに即した天文学運営事業を展開すべく、適切な役割分担を検討していく。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input type="checkbox"/> 妥当 <input checked="" type="checkbox"/> 要検討					
事業性	有効性	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		目標達成度	活動指標 125.23% ★★★★★ 達成された	① プラネタリウム投影回数 (増加目標指標)	95.60% ★★★★★ 概ね達成された	89.20% ★★★★★ 概ね達成された	
		成果指標 398.73% ★★★★★ 達成された	① プラネタリウム観覧者数 (増加目標指標)	89.48% ★★★★★ 概ね達成された	109.96% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和2年度は成果指標を達成したものの、令和元年度末(令和2年3月2日)から続くコロナによる臨時休館が影響し、目標値を低く設定したことに起因する。コロナの影響は今後も見通せない状況が続くものの、コロナ禍前の数年間の成果指標から比較すると、令和2年度の実績は、その45%程度であり、成果向上の余地は残されている。また、当事業は、基本計画中の「児童健全育成のための事業推進」による「地域における子育ての支援」に寄与することから、上位施策への貢献度は高い。				
事業性	効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度	
		コスト改善の余地	118.69% 増加している 18,385.66 円	プラネタリウム投影回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	172.18% 増加している 37,697.76 円	41.09% 減少している 15,490.77 円	
	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	当事業の「手段」は、特殊な機器の操作など、必ず人手を要するものであり、コスト改善の余地はない。単位当たりコストの変動については、平成30年度に児童館30周年記念事業として、多くの事業費が投入されたことが要因である。また、令和2年度は、コロナの影響による活動指標実績が過年度と比較して減少し、単位当たりコストが上昇した。受益者負担については、観覧料見直しの余地があるものの、児童生徒が気軽に遊びに来ることができる場所であることを踏まえると、熟考する必要がある。				
	変動率	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	プラネタリウム室の有効活用を図るため、アロマを使ったプラネタリウム投影、乳幼児を連れた観覧(※)を可能にする投影、プラネタリウム室での映画鑑賞会など、多様な事業を実施している。また、市教育委員会と連携し、市内小学校を対象とした学習投影も実施してきた。令和2年度については、コロナ禍でもあり、学習投影の機会が制限されたものの、遠足行事が実施できないとの理由から、レクリエーションとしてプラネタリウムを活用したいとの申し出があった。また、令和2年度は、令和3年度から投影する新番組の選定を終えた。(※)通常、3歳未満の観覧不可。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>天文学運営事業は、人を集めることになることから、コロナ禍における事業実施の可否や対策を講じた上での実施について精査が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器の更新を進めていきたい。</td> <td>天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	天文学運営事業は、人を集めることになることから、コロナ禍における事業実施の可否や対策を講じた上での実施について精査が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器の更新を進めていきたい。	天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
天文学運営事業は、人を集めることになることから、コロナ禍における事業実施の可否や対策を講じた上での実施について精査が必要。また、劣化が進むプラネタリウム投影機器の更新を進めていきたい。	天文学や宇宙への関心を高めるための本事業は、児童館における特色ある事業のひとつであり、時代によってニーズの濃淡が変わるものではないことから、引き続き内容の充実を図っていく。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	本事業は児童館の特色ある事業の一つであり、好評を博している「天体観望会」をはじめとした事業をより充実させていく。児童館が立地する地域は、若年層や子育て世帯が多く、当事業へのニーズは引き続き高いものと推察する。また、プラネタリウムについては、平成元年の児童館開館と同時に設置されたものであることから、経年劣化が進み、一部コンテンツでは、内容の古さが目立っている。今後は、長年に渡り継続的、安定的に良質な投影ができるよう、市の財政状況と投資の適切なタイミングを捉え、表現力豊かな最新機器への更新を検討していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	
	一次評価日	令和3年5月28日
	一次評価責任者	櫻井 健一

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化
	説明	
	二次評価日	令和3年6月23日

Table with project details including '母親クラブ支援事業', '児童福祉法', and '子育て支援課 児童館ワンダーランド'.

Table with financial breakdown by category (A-D) and year (Heisei 30, Reiwa 1, Reiwa 2, Reiwa 3, Reiwa 4).

Table with performance indicators (KPIs) such as '母親クラブ数' and '母親クラブ合同活動回数'.

Footer area containing 'Sustainable Development Goals' icons (4, 5, 10) and copyright information: Copyright(C)2020 Yoshikawa City office.all rights reserved

評価年度の主な取組	1 母親クラブ概要				
	クラブ名	主な活動日	会員数(人)	児童館でのクラブ活動数	参加者数(のべ)
	ばななクラブ	木曜日	19	3	45
	つくしんぼクラブ	火曜日	30	0	0
	計		49	3	45
	2 クラブ合同による全体事業				
	事業名	参加数(人)			
	七夕祭り	40			
	運動会	81			
	クリスマス会	44			
芋掘り会	46				
リトミック(6回)	240				
計	451				

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	母親クラブは児童館等を拠点として、研修や親子で参加できる行事を通し、子ども達の健全育成を図るために活動している。一方、児童館は平成30年10月1日に改正された「児童館ガイドライン(平成23年3月策定)」において、その機能と役割の一つとして、「子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの推進」が定められた(※第3章 児童館の機能・役割 5)。この中で「地域組織活動の育成を支援」「子どもの育ちに関する組織や人とのネットワークの中心となること」「子どもの健全育成に資するボランティア団体や活動と連携し、地域で子育てを支え合う環境づくりに協力する」と明確に定められていることから、対象及び手段並びに意図については妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
事業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	100.00% ★★★★★ 達成された	① 母親クラブ合同活動回数 (増加目標指標)	92.86% ★★★★ 概ね達成された	92.86% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	104.59% ★★★★★ 達成された	① 母親クラブ合同事業参加率 (増加目標指標)	85.64% ★★★★ 概ね達成された	85.44% ★★★★ 概ね達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	令和2年度は成果指標を達成したが、両親が近隣に住んでいるとは限らず、子育て支援の援助を必ずしも受けやすいとは言えない現代社会において、育児中の親は孤立化しやすく、虐待等の問題に発展しかねないことから、当事業による子育て支援は充足することなく、常に成果向上する余地がある。また、当事業は、基本計画における「地域における子育ての支援」「子どもの健やかな成長の支援」「子育て環境の整備」に確として合致しており、高く貢献している。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
事業効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		90.26% 若干減少している 22,862.00 円	母親クラブ合同活動回数 活動指標を単位として換算 単位：円/回	97.53% 若干減少している 7,507.69 円	337.36% 増加している 25,327.69 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	令和2年度は、活動指標の「合同活動」開催回数を達成した。これは、コロナで例年よりも目標値を低く設定したこと起因する。コストについては、必要最小限の消耗品費等であり、改善の余地はない。一方、当事業の受益者が限定的であるという観点からすれば、負担適正化の余地があると考えられる。しかし、母親クラブの活動は、費用のほとんどがクラブの自己負担であるほか、上記「有効性」で記したような社会背景から、サービスを受けていない市民の納得も得られるものと考えている。				
受益者負担適正化の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	本事業の目的達成のため、年度末に実施する「代表者会議」のほか、各クラブや合同事業の講師と常に意見交換を行い、遊びの方法の見直しや必要な用具の準備等について、常に運営への改善を図ってきた。また、各事業への参加を定着させ、児童館利用を促進(ひいては、子育て支援を推進)するため、季節毎のイベント(七夕やクリスマスなど)に児童館職員も参加したほか、プラントナーへの花植え等、児童館施設の環境整備に各クラブに携わっていただき、児童館運営への相互理解を深めてきた。				
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	<table border="1"> <tr> <th>リスク(マイナス要素)</th> <th>機会(プラス要素)</th> </tr> <tr> <td>母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであることは明白だが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方への適切な周知に努めていく。</td> <td>児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。</td> </tr> </table>	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)	母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであることは明白だが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方への適切な周知に努めていく。	児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。
	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)				
母親クラブの活動は、子育て支援の場の一つであることは明白だが、クラブ活動の存在を知らない層も一定数存在すると考えられる。今後は活動内容も含め、支援を必要とする方への適切な周知に努めていく。	児童館が立地する地域(特に児童生徒数が多い中曽根小、美南小の通学圏内の地域)は、子育て世帯が多く居住し、クラブ活動へのニーズが今後も高く、市による支援が市民の幸福度の向上に寄与する。					
行財政改革大綱との関連(点検・確認)	児童館は、こどもたちの健全育成を目的とした遊びの提供と共に、子育て支援拠点の一つでもある。児童館が立地する地域は、若年層のほか、子育て世帯が多く居住することから、母親クラブ活動のニーズは今後も引き続き高く、クラブへの支援は市民満足度の向上に寄与するものと考えられる。また、当該支援が母親のみならず、その子世代までを見据えた定住促進にも結び付くほか、クラブ員の母親自身が子育て分野における地域の担い手となることから、今後も支援を継続していく。					

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	「今後の方針」の説明(計画内容等)					
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一			

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了				
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化	
	説明					
二次評価日	令和3年6月23日					

基 本 本 事 項	事務事業名	子育て支援センター運営事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援センター				
	事業期間	平成14年度 ~ 未設定	事業年齢	18歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一		
	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			根拠法令等	児童福祉法				
	基との計画関係	まちづくり目標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	実施計画の位置付け	施策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	市まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連	施策小項目	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	個別計画の位置付け	予算科目	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			会計区分	一般会計			
	目的	対象(誰を、何を)	乳幼児をもつ子育て中の保護者とその子ども			款	民生費		児童福祉費	
	的	意図(対象にどのような状態になってほしいのか)	・子育てに関する悩みを軽減することができるようになる。 ・保護者同士や子ども同士の交流が出来るようになる。			目	児童福祉総務費		子育て支援センター等運営事業	
	類似事業	執行方法	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			市民等協働 運営自体は委託しているが、様々な場面で協働しながら事業実施				
前年度事務事業	業務プロセス(No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			30311003	子育て支援拠点の運営委託				
		303401								

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
A トータル コスト	① 事業費	14,591	17,041	18,185	17,760	720	16,212	16,212
	② 人件費	16,386	8,509	8,689	12,952	4,443	12,952	12,952
	正職員投入人員	2.11人	1.10人	1.10人	1.71人	0.61人	1.71人	1.71人
	正職員人件費	16,386	8,509	8,689	12,952	4,443	12,952	12,952
	会計年度任用職員人件費					0		
③ 間接経費(加算)						0		
④ コスト対象外(除外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		30,977	25,549	26,874	30,712	5,163	29,164	29,164
B 特定財源	⑥ 国庫支出金	8,585	8,776	8,743	9,892	1,116	8,858	8,858
	国補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県支出金	8,585	8,776	8,743	9,902	1,126	8,858	8,858
	県補助率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市債						0	
⑨ その他						0		
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)						0		
受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	13,807	7,997	9,388	10,918	2,921	11,448	11,448
D	補助・単独区分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり			<input type="checkbox"/> 吉川市単独			

目 区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	① 子育て支援拠点を利用することができる対象者	人	4,900	4,900	4,900	4,500	4,500
	② 3月31日現在の6歳以下の子どもの総数		4,740	4,596	4,473		
活 動 指 標	① 子育て支援センター(おあしす)開催日数	日	245	245	245	245	245
	年間開催日数		244	239	241		
	② 子育て支援センター(美南・中央)開催日数	日	490	490	490	490	490
	年間開催日数		486	478	486		
成 果 指 標	① 子育て支援センター(おあしす)利用者	人	8,700	8,850	8,900	8,900	8,900
	各講座などを含む年間利用者数		8,803	9,474	3,787		
	② 子育て支援センター(美南・中央)利用者	人	21,250	21,250	21,250	21,250	21,250
	各講座などを含む年間利用者数		17,985	15,709	8,579		

評価年度の主な取組	1 吉川市子育て支援センター(おあしす内)
	2 美南子育て支援センター(美南小学校内)
	3 中央子育て支援センター(吉川団地名店街内)
	4 合同イベント

区分		評価結果	判断理由(特記事項)				
事業性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	児童福祉法第6条の3第6項に定める対象者である乳児又は幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として開設しており、妥当である。				
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	98.37% ★★★★ 概ね達成された	① 子育て支援センター(おあしす)開催日数 (増加目標指標)	99.59% ★★★★ 概ね達成された	97.55% ★★★★ 概ね達成された	
	成果指標	42.55% ★★ 達成度が低い	① 子育て支援センター(おあしす)利用者 (増加目標指標)	101.18% ★★★★★ 達成された	107.05% ★★★★★ 達成された		
	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	新たな事業展開、活動の周知を積極的に行うことにより、成果向上の余地はある。なお、当事業は、総合振興計画の「地域における子育ての支援」に寄与する事業であり、貢献度は高い。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、子育て支援センターに一度に入室できる利用者の組数を減らした為、利用人数が少なくなっている。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし					
効率性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		119.21% 増加している 127,434.38 円	子育て支援センター(おあしす)開催日数 活動指標を単位として換算 単位: 円/日	99.72% ほぼ変動していない 126,956.60 円	84.20% 減少している 106,899.83 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	地域子育て支援拠点を事業内容の充実とコスト改善の観点から運営しており、改善の余地はない。また、受益者負担は求めない事業であるため、適正化の余地はない。				
受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし						

改革改善	これまでの改革・改善内容	子育て支援センターから遠い地域では、参加しにくい親子もいるため、3か所の子育て支援センターが、各地域の公共施設に向向いて、親子が楽しめる講座を実施した。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素)	機会(プラス要素)
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	3ヶ所の子育て支援センターが協働で実施する「合同イベント」は、オンラインで実施し、各子育て支援センターの特徴を生かしながら有効な事業を実施するとともに、協力体制を強化する。また、新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点から、オンライン相談を広く周知していく。	

事業(一次)方向性	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一		

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
二次評価日	令和3年6月23日				

基 本 本 事 項	事務事業名	ファミリーサポートセンター運営事業			所管部署名	こども福祉部 子育て支援課 子育て支援センター			
	事業期間	平成14年度 ~ 未設定	事業年齢	18歳	事前評価日	令和2年11月30日	事前評価責任者	櫻井 健一	
	基本 との 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		根拠法令等	よしかわファミリー・サポート・センター事業実施要綱			
	ま ち づ く り 目 標	第2章 元気・健やか・幸せのまちづくり(健康福祉部門)			事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務			
	施 策	第2節 未来を育む児童福祉の推進			事務事業の性質	<input checked="" type="checkbox"/> 毎年度繰り返し <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度			
	施 策 小 目 的	(1)地域における子育ての支援			直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無			
	実 施 計 画 の 位 置 付 け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			予 算 科 目	会計区分	一般会計		
	市 ま ち ・ ひ と ・ し ご と 創 生 総 合 戦 略 と の 関 連	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 基本目標1『子どもの笑顔と活気でまちを満たす』			款	項	民生費 児童福祉費		
	個 別 計 画 の 位 置 付 け	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 子ども・子育て支援事業計画			目	細目	児童福祉総務費 子育て支援センター等運営事業		
	目 的	対象 (誰を、何を)	小学校6年生までの子どもをもつ子育て家庭			手 段 (ど の よ う な 事 業 を 行 う の か)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファミサポ入会説明会を行う</li> <li>・協力会員講習会を行う</li> <li>・会員同士の援助活動の調整を行う</li> <li>・仕事と育児を両立できる環境を整備する</li> </ul>		
	対象年齢	00	12	小学校6年生までの子ども(とその保護者)					
意 図 (対 象 に ど の よ う な 状 態 に な っ て ほ し い の か)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入会することにより、援助活動が増加する。</li> <li>・安心して子育てや仕事を行うことができる。</li> </ul>								
類 似 事 業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無			業 務 プ ロ セ ス (No.・名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	30310201	ファミサポ入会手続き		
前 年 度 事 務 事 業	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 303402					30310202	ファミサポ		

区分	区 分	平成30年度 決算(千円)	令和元年度 決算(千円)	令和2年度			令和3年度 当初(千円)	令和4年度 計画(千円)
				予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)		
投 入 コ ス ト	① 事業費	3,008	3,485	1,850	1,762	△ 1,723	975	975
	② 人件費	388	387	3,365	3,769	3,382	4,065	4,065
	正職員投入人員	0.05人	0.05人	0.05人	0.11人	0.06人	0.11人	0.11人
	正職員人件費	388	387	395	833	446	833	833
	会計年度任用職員人件費			2,970	2,935	2,935	3,232	3,232
③ 間 接 経 費 (加算)						0		
④ コス ト 対 象 外 (除 外)						0		
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		3,396	3,872	5,215	5,530	1,658	5,040	5,040
資 源	⑥ 国 庫 支 出 金	1,031	1,189	2,063	2,066	877	1,302	1,302
	国 補 助 率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑦ 県 支 出 金	996	1,148	1,563	1,525	377	1,302	1,302
	県 補 助 率	1/3	1/3	1/3	1/3		1/3	1/3
	⑧ 市 債						0	
⑨ そ の 他	6	10		8	△ 2	8	8	8
⑩ 受 益 者 負 担 額 (使 用 料 ・ 手 数 料 等)						0		
受 益 者 負 担 率 (⑩ ÷ ⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)	1,363	1,525	1,589	1,931	406	2,428	2,428
D	補 助 ・ 単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助 <input checked="" type="checkbox"/> 一部補助 <input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独				

目 標 設 定	区分	指 標 名 (上段)		単 位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 計画(見込)値	令和4年度 計画(見込)値
		計 算 式 ・ 説 明 (下段)			目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値		
対 象 指 標	①	0歳～小学校6年生までの子どもをもつ家庭		人	9,400	9,500	9,500	9,000	9,000
		3月31日現在の12歳以下の子どもの総数			9,257	9,098	8,921		
活 動 指 標	①	入会説明会の開催		人	100	110	115	115	115
		入会説明会の参加者数			106	116	55		
	②	講習会の開催		回	13	13	13	13	13
		講習会の開催数			10	12	4		
成 果 指 標	①	相互援助活動		回	90	90	95	95	95
		事前打ち合わせ回数			86	93	51		
成 果 指 標	②	協力会員・両方会員合計人数		人	245	260	265	265	265
		協力会員・両方会員合計人数			246	268	276		
	②	相互援助活動		件	3,500	3,100	3,200	2,500	2,500
		相互援助利用数			2,880	3,053	1,818		

評価年度の主な取組	1 入会説明会 ・入会説明会(定期) 13回 ・入会説明会(個別) 25回 ・協力会員講習会 12回 ・ステップアップ講習会 3回 ・会員交流会 1回
	2 広報 (1)「ファミサポだより」を年2回(8月、2月)発行。援助活動の実績や現在活動中の利用・協力会員のコメント等載せて、協力・両方会員募集についても記載した。 (2)広報よしかわ、ホームページ、支援センターだより「るるんメール」に事業についてや協力・両方会員募集。 (3)昨年度に引き続き、入会説明会は定期開催に加え、随時開催した。 (4)毎月ファミサポの利用方法や協力会員の募集等を行う「ファミサポよろず相談会」を開催し、支援や利用の方法を発信した。 (5)協力・両方会員が不足している駅南地域の小中学校へ、協力・両方会員のちらしを配布。また、人が集まる場所へ出向きPR、ちらしの配布等を行った。

事業区分	評価結果		判断理由(特記事項)				
	妥当性	対象・手段	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討	手段は既に制度化されており、5市1町間の広域利用も可能になったことから手段として妥当である。この事業は、保育所や学童保育室、習い事の送迎など、子育てのために必要な援助を協力会員が保護者に代わって有償で行っている。これは、安心して仕事や子育てを行う際に必要不可欠なものであり、意図として妥当である。			
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
	役割分担(行政関与)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 要検討					
業効性	目標達成度	種別	令和2年度	評価指標(指標性質)	平成30年度	令和元年度	
		活動指標	47.83% ★★ 達成度が低い	① 入会説明会の開催 (増加目標指標)	106.00% ★★★★★ 達成された	105.45% ★★★★★ 達成された	
	成果指標	104.15% ★★★★★ 達成された	① 協力会員・両方会員合計人数 (増加目標指標)	100.41% ★★★★★ 達成された	103.08% ★★★★★ 達成された		
業効性	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	協力会員が増加することによってスムーズなマッチングにつながることから、成果向上の余地はあると言える。当事業は、総合振興計画の「地域における子育て支援」に寄与する事業であり、貢献度は高いと言える。				
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	コロナという社会情勢から学校の休校や習い事のお休みなどで、入会の希望者が少なかった。社会情勢を捉えたうえで、成果向上の余地はあると言える。				
業効性	単位当たりコスト変動率	令和2年度	単位当たりコスト換算指標	平成30年度	令和元年度		
		260.46% 増加している 108,435.84 円	相互援助活動	106.50% 若干増加している 39,493.87 円	105.42% 若干増加している 41,632.54 円		
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	予算も業務上にも適切な内容である。相互援助活動の際は若干の負担はあるが、これ以上の負担を設定すると利用が困難になると予想され、現在のところ受益者負担の適正化の余地はない。 コロナという社会情勢から支援自体の依頼が少なかったことや、令和2年度からの会計年度任用職員の任用により、単価当たりコストが上がっている。				
業効性	受益者負担適正化の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし					

改革改善	これまでの改革・改善内容	5市1町での広域利用を可能にした。	
	事業を取り巻く環境やニーズの変化	リスク(マイナス要素) 美南地区の人口の増加に伴い、利用者がさらに増加することが予想される。	機会(プラス要素) 利用者のニーズを的確に捉え、利用希望の高い地域の協力会員獲得に向け広報活動を積極的に展開していく。
	行財政改革大綱との関連(点検・確認)	講習会の開催については、予定日以外でも個別に対応していく。利用会員と協力会員との事前打ち合わせをしっかりと行い、お互いが安心して活動ができるようにしていく。	

事業(一次)評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	「今後の方針」の説明(計画内容等)				
	一次評価日	令和3年5月28日	一次評価責任者	櫻井 健一	

二次評価	今後の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了			
	「改善のうえで継続」の場合の展開方針	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 手段を改善(実施主体・手段の改善)	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 効率化
	説明				
	二次評価日	令和3年6月23日			